

学校おはなし会

羽村市図書館 編

実践事例	
1	対象(年齢・学年)等 : 小学校(主に1～3年生、場合により全学年)
2	実施時期 : 申請による
3	<p>概要 : 年度当初に学校に向けた事業として副校長会の場で事業案内を配布。2週間程度の間に応募してもらい、5月の連休前までには年度分の学校向けの事業の調整をつけている。</p> <p>(実質の事業を行う期間は6月～翌年2月までが目処)</p> <p>学校おはなし会については申請のあった学年をクラス単位に訪問し、授業の1時程を使っておはなし会を行っている。</p>
4	<p>内容</p> <p>プログラム: 授業の1時程(45分間)</p> <p>テーマ等は季節や行事等に応じて決めている。</p> <p>進行は図書館員が行い、プログラムはおはなしボランティアとの2名1組で進めている。</p> <p>① 図書館利用案内(1年生の最初のおはなし会のみ)</p> <p>② 読み聞かせ、紙芝居、パネルシアター、ストーリーテリング、手遊び等</p> <p>③ 当日紹介した本のまとめと図書館のおはなし会の紹介</p> <p>事後はクラスに紹介した本を団体貸出で1ヶ月程度貸し出し、自由に読んでもらっている。</p> <p>また、当日紹介した本のリストと図書館主宰のおはなし会の案内を載せたチラシを配布し、本を手取るために図書館を利用するよう促している。</p>
5	<p>参加者の反応</p> <p>聞きなれているクラスほど内容を楽しむ力がついている。まとまりのあるクラスはおはなしに対する自然な反応が生まれ、よい雰囲気ができあがっていく。</p> <p>当日の様子については、可能な限り、図書館員・ボランティア・担任教諭の三者から実施結果を提出してもらい、記録として残している。</p>
6	<p>連携した諸機関</p> <p>市内小学校 おはなしボランティアサークル</p>